

特記仕様書

志登茂川浄化センター防災設備等点検業務

1 業務の目的

本業務委託は、関係法令に基づき実施するとともに、消防用設備・防災設備を点検することにより、機能の保全を図ることを目的とするものである。

2 一般事項

- (1) 本業務委託は、契約書、共通仕様書、本特記仕様書、図面及び関係法令に基づき実施するものとする。
- (2) 法に定められた消防用設備、防災設備等の点検は、法に定める有資格者において実施しなければならない。
- (3) 受注者は、点検業務に先立ち監督員と日程調整等を行い施設運営及び管理に支障の無きようにすること。
- (4) 点検業務期間中は、点検開始および終了時に必ず監督員に連絡すること。
- (5) 作業にあたっては、関係法規を遵守すると共に、労働者への安全教育を徹底し、安全の確保を図り災害予防に努めなければならない。
- (6) 点検作業中に、対策しなければならない重大な故障部分または不具合箇所を発見した場合は、速やかに監督員に報告すること。
不具合箇所等については、この仕様書等に明記されていない場合でも、軽微なもの又は点検時において処理できるものについては、受注者の責任において処理（小修理を含む）するものとする。
- (7) 履行期間内における消防用設備の警報、不具合、故障等については、誠意をもって調査、処理するものとする。またそれに要した費用は、監督員と協議し決定するものとする。
- (8) 受注者は、段階点検終了後速やかに点検結果の書類を作成し、報告すると共に、定められた時期に監督官庁への届け出の代行を行わなければならない。
なお、この報告にかかる費用は全て受注者の負担とする。
(監督官庁(消防署)への報告は、今年度の予定。)
- (9) 点検は、現有設備において行うものであり、内訳明細書に記載された点検数量と実施数について差異が生じても設計変更はしないものとする。(著しく相違がある場合は、監督員と協議)
- (10) 業務履行終了時には、完成図書として実施数量調査書を作成し提出しなければならない。
- (11) 消火器の点検は、関係法令に従い外観点検並びに内部確認及び機能の確認を行うものとする。
なお、外観点検を全数行った後、製造年の確認を行い翌年度から5カ年の点検計画書を作成

すること。

- (12) 点検によって使用した消防用設備等は、適正なる処理(乾燥、充填、格納等)を行い機能の確認を再度行うこと。
- (13) 業務の履行に際し発生する廃棄物並びに仕様書で指定する廃棄器具の処分については、適正に行うこと。またそれに要する費用は、受注者の負担とする。
- (14) 点検において不良、不具合が発見された場合は、その内容の詳細及び概算見積書を作成し、監督員に提出しなければならない。
- (15) 点検を終了した設備機器には、点検済みのシール又はラベル等を貼付し明瞭にしなければならない。
- (16) その他疑義のある場合は、監督員と協議すること。

3 業務の内容

(1) 防火対象物及び消防用設備等の概要

防火対象物名称	構造・階数	延床面積 届出面積 (m ²)	消防用設備等
管理棟	RC造 地上3階	2516.80	・消火器 ・自動火災報知設備 ・ガス漏れ火災警報設備
ポンプ機械棟	RC造 地下3階地上3階	4814.59	・消火器 ・屋内消火栓設備 ・粉末 소화設備 ・自動火災報知設備 ・非常放送設備 ・誘導灯設備 ・連結送水管
北系水処理施設	RC造・SRC造 地下3階地上1階	8116.59	・消火器 ・屋内消火栓設備 ・自動火災報知設備 ・誘導灯設備 ・排煙設備 ・連結送水管
ろ過施設	RC造 地上1階	64.64	・消火器 ・誘導灯設備
汚泥棟	RC造 地下1階地上3階	3305.04	・消火器 ・屋内消火栓設備 ・自動火災報知設備 ・誘導灯設備 ・排煙設備 ・連結送水管

(2) 消火器更新予定個所

No	設置場所	種別（既設）	区分	型式番号（既設）	容量
ポンプ機械棟					
1	3階 電気室(1)	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
2	3階 電気室(1)	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
3	3階 電気室(1)	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
4	3階 電気室(1)	YA-50XIII	蓄圧	消第 25-1	20.0kg
5	3階 電気室(2)	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
6	3階 電気室(2)	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
7	3階 電気室(2)	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
8	3階 電気室(3)	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
北系水処理施設					
9	B1階 最初沈殿池	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
10	B1階 最初沈殿池	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
11	B1階 最初沈殿池	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
12	B1階 最初沈殿池	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
13	B1階 最初沈殿池	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
14	B1階 最初沈殿池	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
15	B1階 反応槽	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
16	B1階 反応槽	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
17	B1階 反応槽	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
18	B1階 反応槽	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
19	B1階 反応槽	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
20	B1階 反応槽	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
21	B1階 反応槽	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
22	B1階 反応槽	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg
23	B1階 最終沈殿池	YA-10NX	蓄圧	消第 27-59-1	3.0kg

※設置機器は上記同等品とし、処分にあっては関係法令を遵守し、適正処分を行うものとする。

(3) 点検業務等

1) 消防用設備、建築基準法関係防災設備の点検

① 消防用設備等の点検(法定点検)

点検の基準、期間及び結果の報告は「消防法」、「同施行令」、「同施行規則」及びこれに基づく告示等に定めるところによる。

② 建築基準法関係防災設備の点検及び部品交換

点検の基準、期間及び結果の報告は「建築基準法」、「同施行令」、「同施行規則」及びこれに基

づく告示等に定めるところによる。

点検項目は、以下のものとする。(■は、本業務の対象とする。)

■ 建築排煙設備(排煙窓等) ■ 防火戸 ■ 防火ダンパー ■ 防火シャッター

□ 非常用照明装置

2) 自家発電設備点検

① 自家発電設備の機器仕様

発電機仕様

設備機器名称	ブラシレス交流発電機
型式	LX-M49XL-4
機番号	302940
発電機出力	1,250kVA 3相 6450V 60Hz
励磁方式	ブラシレス方式
製造年月	2016年(平成28年)11月
製造会社	大洋電機株式会社

ディーゼル機関仕様

設備機器名称	V形単動水冷 4 サイクルディーゼル機関
型式	AY40L-ET
使用燃料	ディーゼル軽油(JIS K 2204 2号)
潤滑方式	機付ギアポンプによる強制潤滑方式
使用潤滑油	API サービスグレード CF 級以上 15W40
潤滑油保有量	190L
冷却方式	ラジエータ冷却方式
冷却水保有量	315L(機関:139L ラジエータ:176L)
定格出力	1,076kW
定格回転速度	1800min ⁻¹
シリンダー配置-数	V列-12 気筒
シリンダー径×行程	φ155×180
製造会社	ヤンマー株式会社

② 点検の方法等

ア 点検の方法は、消防法第17条の3の3に基づいて行うこと。

イ 安全管理については、徹底して行うこと。

3) 消防用設備等に関する訓練・教育

■①本業務の対象とする。 □②本業務の対象としない。

①対象とする場合

ア 消防用設備等の操作説明及び実地指導を年1回行うものとする。

イ 訓練・教育については、点検に合わせて行うものとする。

なお、訓練に使用する器具等の準備及び後片付けは、受注者の責任に於いて行うものとする。

ウ 具体的な内容及び日時等の詳細については、別途協議するものとする。

エ これに要する費用は、受注者の負担とする。

4 施行条件

(1) 点検可能日 □指定なし ■指定あり

(指定あり 原則平日とし土日・祝日については監督員と協議)

(2) 点検可能時間帯 □指定なし ■指定あり

(指定あり 原則8時30分～17時00分とし左記時間外は監督員と協議)

(3) 点検順序 ■指定なし □指定あり

(4) 業務車両の駐車場 ■指定なし □指定あり

5 安全管理

(1) 受注者は、本業務に対応した安全確保、交通管理及び大雨、台風、地震等についての安全に関する対応並びに監督員が特に求める事項について具体的に計画し、実施しなければならない。

(2) 受注者は、稼働中の設備に対して安全確保を図るため適切に施工しなければならない。

(3) 維持管理会社及びその他工事等と輻輳する場所、通路での安全確保については、監督員及び関係者と協議し効果的な措置を講じるものとする。同時作業が発生した場合は、原則として維持管理会社の業務を優先とする。

(4) 既存設備の運転、停止、休止については、監督員、維持管理会社と協議し予め計画し、実施については原則立会いとする。

6 写真管理

(1) 一般事項

写真管理は、以下に示す事項を基本とする。記載なき事項については、三重県土木工事施工管理基準に定める写真撮影及び日本下水道事業団工事記録写真作成要領を準用する。

(2) 業務写真の分類

以下のとおりとする。

- ①着手前及び完成写真
- ②履行状況写真
- ③安全管理写真
- ④使用材料写真（交換部品等の場合は、新・旧の写真）
- ⑤品質管理写真（必要に応じ。）
- ⑥出来形管理写真 ⑦その他

(3) 撮影、プリント用具

原則としてデジタルカメラとし、撮影素子100万画素以上とする。カラープリンターは、600dpi以上の機能を有し通常の使用条件で3年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。

(4) 撮影方法

- 1) 写真撮影に当たっては、次の項目の必要事項を記載した小黒板を被写体とともに写し込むものとする。なお、小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し写真に添付し管理する。また、電子黒板の使用を認めるものとする。（必要事項）

- ①業務名 ②業務種別等 ③作業内容 ④測点 ⑤設計寸法
- ⑥実測寸法 ⑦略図 受注者名

- 2) 業務写真は、あらかじめ業務計画時に撮影箇所を特定すると共に、監督員が指示する箇所及び不可視部分を適切に撮影すること。

(5) 写真の色彩及びサイズ

写真はカラーとし、大きさはサービスサイズ程度とする。ただし、監督員が指示するものは、その指示したサイズとする。

(6) 業務写真の整理及び提出

- 1) 業務写真の整理及び提出は、以下のとおりとする。

- ①電子媒体で整理
- ②プリント、業務写真台帳

- 2) 提出部数 1部 2部 その他（電子ファイル）

7 提出書類

(1) 書類の提出形態

紙等による。

電子納品による。(監督員と対象協議 電子納品マニュアルによる)

■紙等及び電子納品

(2)提出書類

受注者は、監督員の指示に従い、下記の書類を提出することとする。

1)着手時

- ①業務着手届 1部
- ②工程表 1部
- ③現場代理人等選任(変更)通知書 1部
- ④配置技術者届(資格証明書添付) 1部
- ⑤点検従事者届(資格証明書添付) 1部
- ⑥業務計画書 1部

記載事項は、次のとおりとする。

- ・業務の概要 ・履行体制 ・使用(測定機材)資機材一覧 ・実施工程表
- ・各種業務履行要領 ・安全管理 ・緊急時の連絡網

- ⑦使用材料調書(交換部品等がある場合) 1部
- ⑧材料確認調書(交換部品等がある場合) 1部

2)履行中

- ①業務打合簿 1部
- ②その他監督員が指示するもの
- ③異常発見の場合 詳細報告書(内容、写真、対処方法、概算見積書) 1部

3)完成時

- ①点検結果報告書、総括表共 法定様式(年2回)
 - 2部(正・副)正・副ともパイプファイルにて提出
 - 1部パイプファイルにて提出
- ②業務日報 1部
- ③業務写真台帳 1部
- ④業務委託完成報告書 1部
- ⑤完成図書類
 - 実施数量調書 1部
 - 防災設備配置図 1部

(□電子納品: 公社提供による平面図電子媒体、現場と相違がある場合には修正すること。)

■消火器点検計画書 1部(翌年度から5ヶ年分作成すること。)

■連結送水管点検計画書 1部(翌年度から10ヶ年分作成すること。)

■⑥その他監督員が指示するもの 1部